

銀座街づくり会議

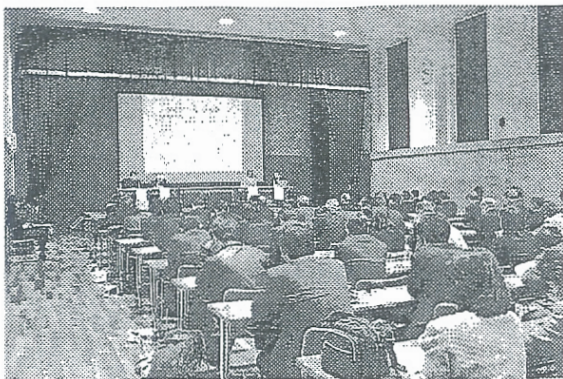
〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● E-mail: ga-tpc@ginza.co.jp

● このNEWSLETTERは、銀座通連合会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています

先日、1月21日に京橋プラザで中間報告会行われました。その様子が日刊建設工業新聞に掲載されました。

当日お越しになれなかった方、意見や質問をお持ちの方は、ぜひ2月2日にお越し下さい。



東京・銀座の銀座通連合会や全銀座会らが立ち上げた「銀座街づくり会議」は21日、銀座地区の将来像の検討に向けての中間報告会を開いた。写真。同地区では、建物の老朽化などによる機能更新が進みつつあり、民間開発と周辺環境との整合や、良好な景観形成などが課題となっている。このため、既存の地区計画に加え、屋上工作物の高さや広告物の形態、荷さばきスペースや駐車場のあり方などを検討しながら、地区全体の活力向上に結びつくような街づくりの策定に取り組んでいく方針だ。

地区計画との整合性に配慮／銀座街づくり会議が中間報告

「中間報告会では、「銀座にふさわしい空間とは?」をテーマに、都市プランナーの袁原敬氏や工学院大学の倉田直道教授らが検討状況を報告。さらに、街づくり会議の評議会議長を務める遠藤彬氏ら住民代表が加わった形で議論が交わされた。

議論の中では、銀座らしさをつくり出している大きな要素として、ヒューマンスケールの街区構成や個性的な路地といった空間形状と、整然とした街並みが持つ風格などが挙げられ、こうした銀座の持つ強みを生かした街づくりの重要性を確認した上で、倉田教授は「これらの社会的文化的価値が地域全体の発展につながる事が一番大事だ」と述べた。遠藤氏は、今後の課題として銀座地区全体のコンセンサスづくりの必要性を挙げるとともに、「銀座全体のコンセンサスのもとに、悔いのないグランドデザインを描いていきたい」と活動の抱負を語った。袁原氏は「銀座全体の総意で街づくりができれば、新しいモデルになる」と今後の展開に期待を示した。

日刊建設工業新聞 2005年1月25日

「銀座街づくり会議」:: 中間報告会

銀座にふさわしい空間とは? 2

考えよう。21世紀・銀座のまちづくり

2005年2月2日(水) 銀座通連合会会議室

中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3階

- 10時半～
- 12時半～
- 14時半～
- 16時半～
- 18時半～
- 20時半～ (各1時間)

ご報告頂く先生方

袁原敬 (都市プランナー)

倉田直道 (工学院大学教授)

岡本哲志 (岡本哲志都市建築研究所)

小林博人 (㈱小林・楨デザインワークショップ)

お申し込み・お問合せは銀座街づくり会議まで。一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

※21日にご都合が悪かった方のために、また銀座のさまざまな業種の方にご参加いただけるよう、もう一日用意しました。幅広い時間帯で1時間ずつ行います。ご都合のよい時間におこしください。

当日配布した資料「地区計画『銀座ルール』の考え方」を差し上げます。当日のビデオをお貸し出します。各町会、通り会、お店等でお役立てください。